

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式1)

＜団体名＞ 天王寺動物園

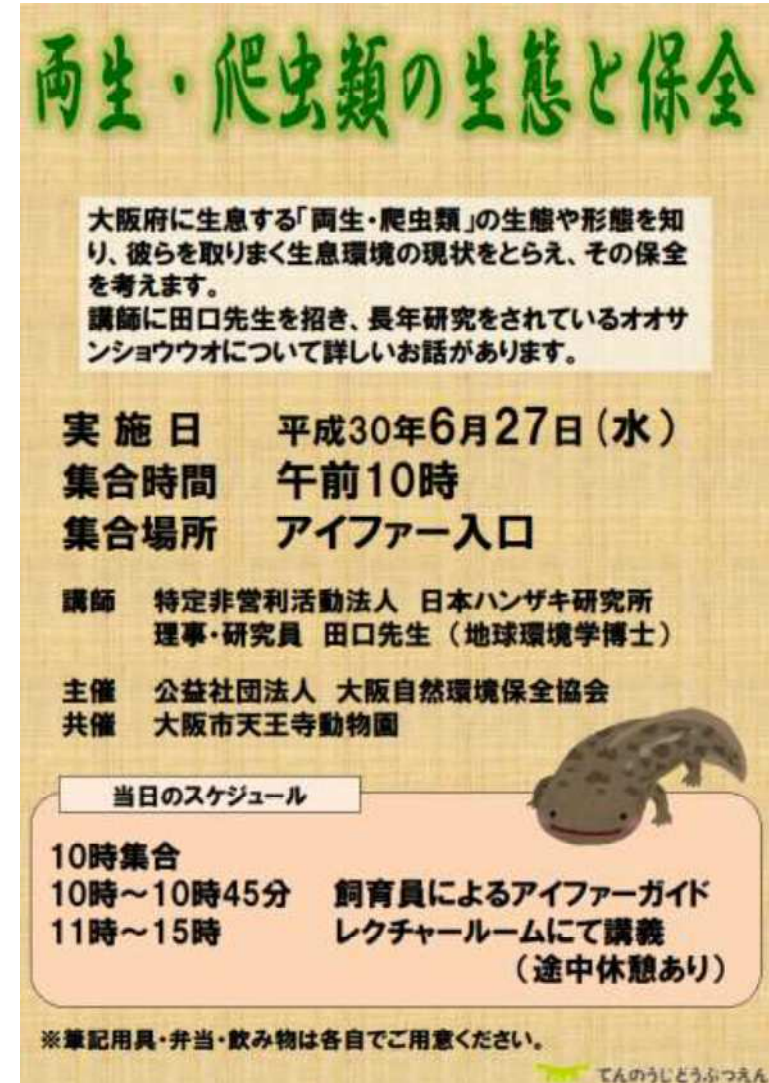
◆ 取組内容 公開講座「両生・爬虫類の生態と保全」

日時： 平成30年6月27日（水）
10:00～15:00

場所： 天王寺動物園内
アイファー（爬虫類生態館）
レクチャールーム

内容： 天王寺動物園飼育員によるアイファーガイド
講義「両生類・爬虫類について」
（日本ハンザキ研究所
理事・研究員 田口勇輝氏）

共催： （公社）大阪自然環境保全協会



The poster is titled "両生・爬虫類の生態と保全" (Amphibians and Reptiles: Ecology and Conservation) in green stylized text. It provides details about a lecture held at the天王寺動物園 (Tennoji Zoo). The text on the poster includes:

- 大阪府に生息する「両生・爬虫類」の生態や形態を知り、彼らを取りまく生息環境の現状をとらえ、その保全を考えます。**
講師に田口先生を招き、長年研究をされているオオサンショウウオについて詳しいお話があります。
- 実施日** 平成30年6月27日（水）
- 集合時間** 午前10時
- 集合場所** アイファー入口
- 講師** 特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所
理事・研究員 田口先生（地球環境学博士）
- 主催** 公益社団法人 大阪自然環境保全協会
- 共催** 大阪市天王寺動物園
- 当日のスケジュール**
 - 10時集合
 - 10時～10時45分 飼育員によるアイファーガイド
 - 11時～15時 レクチャールームにて講義（途中休憩あり）
- ※筆記用具・弁当・飲み物は各自でご用意ください。
- てんのうじどうぶつえん

※大阪市生物多様性戦略 具体的施策No.6 関連

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式1)

＜団体名＞ 天王寺動物園

◆ 取組内容 「第三回 生物多様性と絶滅危惧動物を勉強するツアー」

日時： 平成30年10月14日(日)
10:30～15:00

場所： 天王寺動物園内 レクチャールーム

内容： 「大阪市の生物多様性」(環境局)
「オランウータンが住む森の生物多様性」
(国立科学博物館 久世濃子氏)
トークショー「森の危機」
(サラヤ(株) 中西宣夫氏、久世氏)
動物園ガイドウォーク
「絶滅危惧動物を勉強するツアー」
VR動物園
(360°カメラで撮影した動物の動画)

共催： (一社) 大阪市天王寺動物園協会
環境局

第三回生物多様性と絶滅危惧動物を勉強するツアー

入場料 大人:500円 小・中学生:200円 未就学児:無料 定員 50名 雨天決行

申し込みはWeb、電話で受け付けます。
大阪市天王寺動物園協会
電話:06-6771-0201
Web: <https://www.tenrioo.org>

森が消えていく...
大阪市や熱帯雨林の生物多様性を学びます!

会場:天王寺動物園・レクチャールーム
主催:一般社団法人大阪市天王寺動物園協会、共催:天王寺動物園、大阪市環境局

午後の部 10:30～11:00
大阪市の生物多様性
★大阪府環境局

11:00～12:00
オランウータンが住む森の生物多様性
★国立科学博物館 久世濃子氏(2019年賞状受賞)

午後の部 13:00～14:00
トークショー 森の危機
★サラヤ株式会社 中西宣夫氏 X 国立科学博物館 久世濃子氏

14:00～15:00
絶滅危惧動物を勉強するツアー
★天王寺動物園

VR動物園(予定)
参加費:100円

協力: SARAYA
リコイメージング株式会社
大阪市立東区工業高等学校

※大阪市生物多様性戦略 具体的施策No. 6 関連

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式1)

＜団体名＞ 天王寺動物園

◆ 取組内容 「 ECO縁日2018 」 ブース出展

日時： 平成30年11月3日（土・祝）10:30～15:00

場所： 花博記念公園 鶴見緑地

内容： 標本展示・ガイド

頭骨： ライオン、シマウマなど

糞： アジアゾウ、クロサイ、キリン、シマウマ、コアラなど

動物生体展示・ふれあい・ガイド

ヤギ、ニワトリ、ワライカワセミ

※過去の参加では、ステージにおいて動物クイズを実施した。



各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

<団体名> 天王寺動物園

◆ 過去の取組みにおける他団体との連携実績

■ WWFジャパン

- ・ ナイトZOOで、WWFジャパンのイベント「アースアワー2018」とコラボレーションし、アースアワーのテーマカラーである青色で、動物舎をライトアップした。
- ・ 生物多様性企画展「いきものなにもの？」展会場内に、アースアワー2018用の撮影スポットを設置した。
- ・ 「国際生物多様性の日」イベントで、動物の糞をテーマにしたイベント「くんくんPlanet～うん香道で旅する地球～」を開催。



■ IUCN日本委員会

- ・ 「国際生物多様性の日」イベントなどで、にじゅうまるプロジェクトについて啓発する目的で、動物モチーフの折り紙細工WSなどを開催。

■ 林野庁近畿中国森林管理局

- ・ 「国際生物多様性の日」イベントで、WS「子ども出張森林教室～日本のもりの動物を知ろうクラフト体験～」を開催。

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

＜団体名＞ 天王寺動物園

◆ 過去の取組みにおける他団体との連携実績

■ （公社）大阪自然環境保全協会

- ・ 公開講座「両生・爬虫類の生態と保全」を共催。

■ （一社）大阪市天王寺動物園協会

- ・ 「生物多様性と絶滅危惧動物を勉強するツアー」を共催。

■ 海遊館 ■ 南海電気鉄道（株）

- ・ パネルディスカッション「わたしたちの暮らしと生物多様性」へ出席。

■ きしわだ自然資料館

- ・ WS「チリメンモンスターを探せ！」への講師派遣およびチリメンジャコの提供。

■ 市立自然史博物館

- ・ 生物多様性企画展「いきものなにもの？」展での展示標本の借り受け。
- ・ パネルディスカッション「わたしたちの暮らしと生物多様性」へ出席。

◆ 生物多様性保全の取組みを進める上での課題



各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式 1)

＜団体名＞ 認定特定非営利活動法人大阪自然史センター

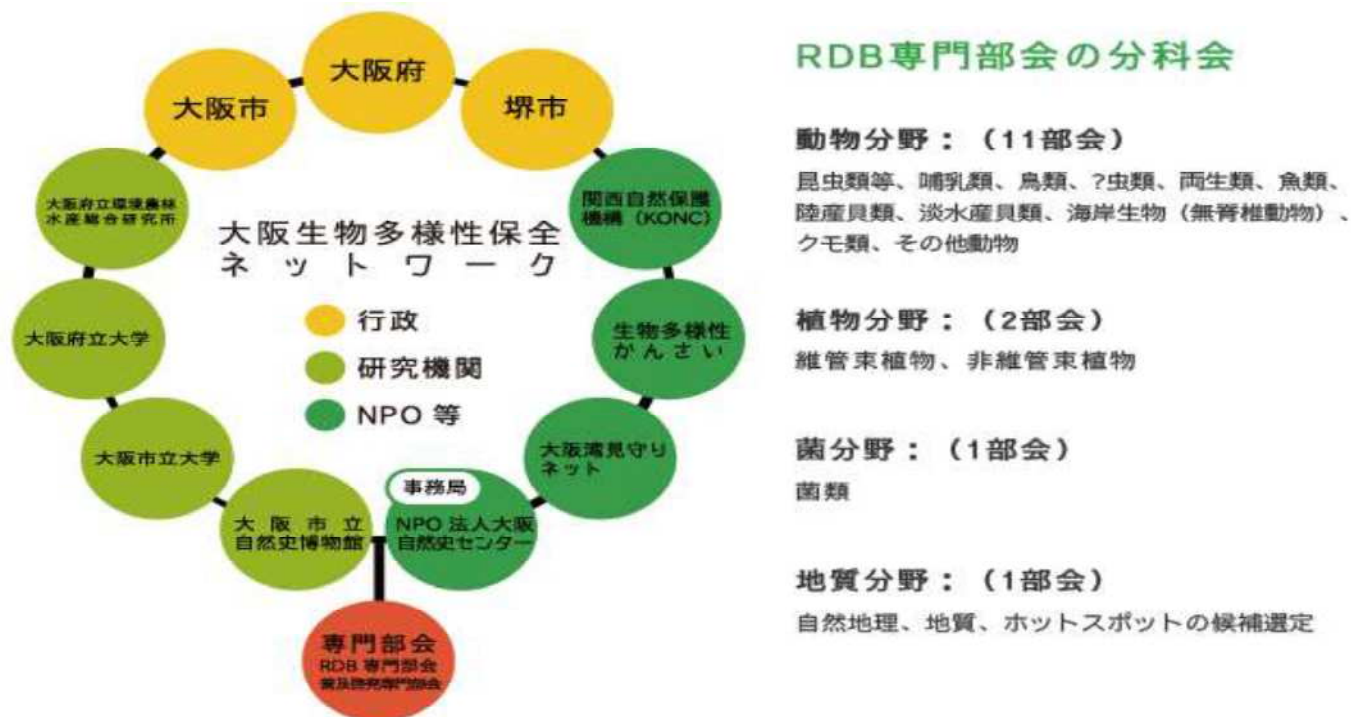
- ◆ 取組内容 「 友の会事業の実施 」
- ◆ 博物館を積極的に利用して、自然と親しむ人々へ、情報を提供するため、「大阪市立自然史博物館友の会」事業を行っています。会員約1700世帯が参加し、さまざまな行事を通して、みんなで自然を学んでいます。
- ◆ ・月刊誌 Nature Study の発行
- ◆ ・各種行事の開催
- ◆ 月例ハイキング 毎月1回、さまざまな場所にでかけて自然を観察しています。公園へ花にくる虫を探しに行ったり、林にキノコやコケを観察しに行ったり、海岸で見つけた海藻を試食したりと、楽しい企画が盛りだくさんです。企画は毎年かわりますので、お楽しみに。
- ◆ 市民参加型の調査 大和川と淀川水系について、生物や水質などをみんなで調査するプロジェクトを実施しました。調べ方の研修や結果をまとめる会なども行い、未来につなぐ貴重なデータが集まりました。今後は都市の公園に残された自然についても、調べていきます。
- ◆ 友の会まつり 味わうことを通して、自然に親しむ企画です。野草のお茶を飲み比べたり、地引網漁にかかった生き物を調べて食べたり、シカやイノシシのバーベキューをしたり、おいしくて面白い行事です。
- ◆ などなど
- ◆ <http://www.omn-hn.jp/npo/what-we-do/tomonokai.html>

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

＜団体名＞ 認定非営利活動御法人大阪自然史センター

◆ 過去の取組みにおける他団体との連携実績

<http://www.omn-hn.jp/npo/about/summary.html>



◆ 生物多様性保全の取組みを進める上での課題

- ◆ 生物多様性の重要性に対する理解を深め、生物多様性の保全に資する活動を多様な主体が協働して推進するため、ネットワークを活用した情報収集・整理による知見の集約化と、生物多様性の総合的な窓口としての情報発信なども考えています。